

第123回

中小企業景況調査報告書

〔平成22年 1月～ 3月期実績〕
〔平成22年 4月～ 6月期予測〕

平成22年5月
群馬県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数…… $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、平成22年3月1日 (月) を調査時点とし、期間は平成22年1月～平成21年3月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口:人) 平成17年12月1日現在	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
吉岡町 (18,044)	15	3	3	5	4
群馬伊勢崎 (73,307)	15	3	3	4	5
上野村 (1,522)	15	4	3	4	4
下仁田町 (9,514)	15	3	3	4	5
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
草津町 (7,276)	15	3	3	4	5
川場村 (4,191)	15	4	2	5	4
高崎市倉渕 (4,642)	15	3	3	4	5
合計 (構成比%)	150 (100%)	32 (21.3%)	29 (19.3%)	45 (30.0%)	44 (29.3%)
回答企業数	150	32	29	45	44
回収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※桐生市黒保根は、平成17年6月1日の人口

下仁田町、草津町、高崎市倉渕は、平成18年4月1日推計の人口

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	6	18.8
飲料・たばこ・飼料	1	3.1
繊維	1	3.1
木材・木製品	4	12.5
家具・装備品	6	18.8
印刷・同関連業	3	9.4
プラスチック製品	1	3.1
窯業・土石製品	1	3.1
はん用機械器具	1	3.1
業務用機械器具	1	3.1
電気機械器具	3	9.4
輸送用機械器具	2	6.3
その他	2	6.3
合 計	32	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	15	51.7
職別工事業	11	37.9
設備工事業	3	10.3
合 計	29	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
各種商品	2	4.4
織物・衣服・身の回り品	4	8.9
飲食料品	22	48.9
機械器具	1	2.2
その他小売業	16	35.5
合 計	45	100.0

(4) サービス業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
道路貨物運送業	3	9.4
宿泊業	8	25.0
飲食店	16	50.0
洗濯・理容・美容・浴場	11	34.4
その他の生活関連	1	3.1
娯楽業	1	3.1
自動車整備業	4	12.5
合 計	44	100.0







1. 群馬県全産業の景況概況

今期（平成22年1月～3月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲21.9→▲37.5、建設業：▲31.1→▲34.6、小売業：▲57.8→▲42.2、サービス業：▲36.4→▲36.4となった。小売業で大幅な回復傾向がみられる一方、製造業で大幅な悪化、建設業で小幅な悪化であった。サービス業は前期と変わらなかった。































また、全業種ともに雨の景況であった。

来期（平成22年4月～6月期）予想では、製造業：▲15.7→▲25.0、建設業：▲34.5→▲17.2、小売業：▲33.3→▲44.4、サービス業：▲31.9→▲31.9であり、製造業で悪化、小売業で大幅な悪化の見通しである一方、建設業は大幅な回復見通しであった。サービス業は現状維持の見通しであった。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成19 年度	平成20年度				平成21年度				平成22 年度
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12 月	1～3月	4～6月 見込み
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業	